

04

受け取ったものを解釈する 受け取ったものを、いろいろな視点から見てみる

■ この章で学ぶこと

前章では、ハイヤーセルフへ問いかけ、最初に届いたものを受け取るころまでを体験しました。
この章では、通常の意識へ戻ってから、「受け取ったものは、どういう意味だろう？」と考えていきます。
ハイヤーセルフから届くものは、いつもそのまま意味が分かるとは限りません。
言葉、イメージ、身体感覚、雰囲気、なんとなく感じたこと。
それらを通常の意識で、いろいろな視点から解釈してみます。
そして、その解釈をしたときに、自分がどう感じるのかも見ていきます。

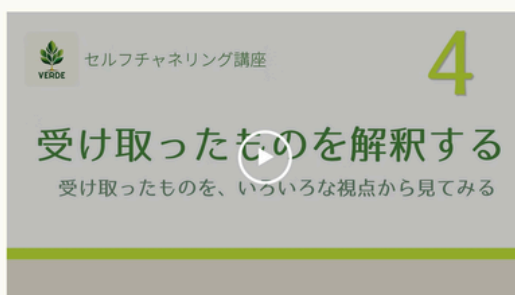
■ この章のゴール

受け取ったものを通常の意識でいろいろな視点から解釈し、自分がどう感じるのかを確認する。

教材

● 講義動画

この章のポイントを講義動画で確認します。



● PDF教材

講義動画でポイントを確認したら、
PDF教材でさらに深めてください。

PDF教材を開く

● 実践音源

この章で扱う内容を、
実際に体験しながら確認します。
必要な音源を使い、
ご自身のペースで実践してみてください。

基本の瞑想01 ガイドあり

基本の瞑想01の最後に、セルフチャネリングの実践用のガイドが入ります。
(18:00)



基本01 ガイドあり - VERDE

00:00 / 18:00

基本の瞑想02 ガイドあり

基本の瞑想02の最後に、セルフチャネリングの実践用のガイドが入ります。
(10:00)



基本02 ガイドあり - VERDE

00:00 / 10:00

次に進める前に

第5章「もっと話してみる」に進む前に、確認してみましょう。

- ☐ 「最初に受け取ったもの」と「そのあとに考えた解釈」を分けて見られそうですか？
- ☐ 一つの正しい意味を急いで決めず、いくつかの可能性を考えられそうですか？
- ☐ 言葉だけでなく、イメージや身体感覚なども、自分自身の連想から解釈できそうですか？
- ☐ いくつかの解釈について、「私はどう感じる？」と確認できましたか？
- ☐ より心地よく感じられるものを、自分で選べそうですか？
- ☐ よく分からないものは、無理に意味を決めず保留にしておけそうですか？

すべて「はい」でなくて大丈夫です。

まずは一度、受け取ったものについて、いくつかの解釈を考え、それぞれをどう感じるのか確認する。

そこまでを体験できていれば、次の章へ進んでみましょう。

第5章へ進む



01 セルフチャネリングを知る

02 観察する・整える

03 つながる・受け取る

04 受け取ったものを解釈する

05 もっと話してみる

06 日常で使いやすくする

07 うまくいかないと感じたら

08 ハイヤーセルフと生きる

[実践サポート](#)

[よくある質問](#)

[実践音源一覧](#)

[講座TOP](#)